



To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

ガバナー月信



2011-12

2011年7月号
発行 / 2011年7月1日

COPY FOR MEMBERS



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



こころの中を見つめよう

博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 山田 修平

国際ロータリー第2790地区内クラブ会長、幹事の皆様には、万全の準備をされて新ロータリー一年度をお迎えのことと存じます。私は、地区内ロータリー・クラブがロータリーの綱領を推進するのを助けるために、地区チームの皆様と共に1年間任務にあたりたいと存じます。

ガバナー月信は、クラブ会長、幹事宛に発刊されますが、写しという形ですべての地区内ロータリアンに配布されます。皆様におかれましては、ガバナー月信をロータリー情報入手の一つの手段として有効にご活用いただきたいと存じます。

本年度RIテーマは“Reach within to Embrace Humanity”「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向けるように、カルヤン・バネルジーRI会長は述べておられます。

本年度の第一の強調事項は、家族です。私たちの目標のすべてが家族を中心に据えています。家

族はコミュニティーの最小単位です。家族が出发点です。ここから初めて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は「継続」です。ロータリー・クラブの役職は単年度制ですが、各クラブは毎年継続して様々な事業を実施してきました。こうした私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。

第三の強調事項は「変化」です。変えてはならない事と、変えなければならない事を多くの方が提唱してきました。本年度は「変化」としてはいますが、目標は同じと考えて下さい。皆様のクラブで変化させなければならないことを、会員全員で話し合い、変化を実現して頂きたいと思えます。

上記を実施する際に、様々な疑問が生じると思えます。そうした際には、ガバナー補佐や地区委員会に遠慮なく質問して下さい。地区チームは一人丸となって皆様のクラブを応援します。

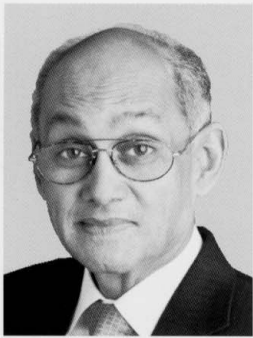
本年度1年間、宜しくお願い致します。



国際ロータリー第2790地区

ガバナー事務所: 〒292-0806 木更津市請西東1-5-4 TEL:0438-72-2790 FAX:0438-72-2794

E-mail 11-12gov@rid2790.jp URL <http://www.rid2790.jp>



2011-2012年度

国際ロータリー会長メッセージ

Reach within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2011-12年度 RI会長 カルヤン・バネルジー

2011—12年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えようとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして、人々の望みを理解することはできないからです。

全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。

自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。

次年度には、ロータリーの奉仕において3つ

の強調事項に力を注いでいきたいと思えます。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから初めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。

同時に、改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。

マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力してい

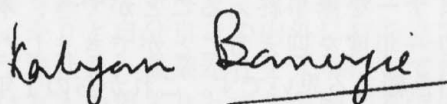
ます。ロータリアンは並のことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類まれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないのでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることができる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。

2011-12年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身になることです。平和を

望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。



2011-12年度国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

2011-12年度国際ロータリー会長

カルヤン・バネルジー (インド、グジャラート)

2011-12年度国際ロータリー会長エレクト
2001-05年度ロータリー財団管理委員
2008-09年度ロータリアン行動グループ委員会委員長
1995-97年度国際ロータリー理事
1980-81年度地区ガバナー

カルヤン・バネルジー氏は、Uniphos Agro Industries Limited の国内最大の農薬メーカーである United Phosphorus Limited の理事、ならびに同社バングラデシュ支社の会長を務めています。1942年、インドのカルカットで生まれたバネルジー氏は、インド工科大学カラグプル校で化学工学を専門に学び、1964年に卒業しました。現在はインド最大規模の工業都市であるグジャラート州のバピに居住し、これまでに保健と教育の分野におけるインフラ整備に深く関与して発展に大きく貢献してきました。

1972年にバピ・ロータリー・クラブ会員となって以来、ロータリーのありとあらゆるレベルで活躍してきました。1975年に同クラブの会長となり、1980年には地区ガバナーを務めました。

1995年には国際ロータリーの理事に選出され、国際レベルで活躍し始めました。1997年に貧困および飢餓緩和グループでゼネラル・コーディネーターに任命され、2001年にはロータリー財団の管理委員を務めました。その後、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員(2008-09)、東南アジア・ポリオ・プラス委員会委員長(2009-

10)、アフリカ支援委員会委員(2009-10)、リーダーシップ教育・研修委員会委員(2009-10)、インド恒久基金委員会委員(2008-09)、子供の死亡率低下強調委員会委員(2008-09)などに加え、その他さまざまな委員会を通じて経験を積んできました。

バネルジー氏はまた、アメリカ化学会 (American Chemical Society) やインド化学工学会 (Indian Institute of Chemical Engineers) で活躍し、ヴィシュヴァ・バーラティ大学では評議員を務めています。また、バピ工業協会 (Vapi Industries Association) の会長を2回、インド産業界同盟 (Confederation of Indian Industry) のグジャラート支部長を務めた経歴もあります。さらに、ジャイ研究財団 (Jai Research Foundation) とロータリー人道賞基金 (Rotary Awards for Humanity Trust) などの団体の管理委員を務めています。

配偶者のビノタ夫人は活発に社会活動を行っており、夫妻には2人のお子さんと4人のお孫さんがいます。



より強力な 魅力あるクラブに

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 山田 修平

本年3月11日に発生した東日本大震災は、各方面に多大な影響を与えました。第2790地区でも、ガバナー・エレクト年度の最大の行事である三大セミナーの内、会長エレクト研修セミナー(PETS)の開催を2週間延期せざるを得ない事態になりました。しかし、皆様のご協力のお陰で、三大セミナーを無事終えることができ、本日新ロータリー年度を迎えることができました。誠に身の引き締まる思いです。これからの1年間、精一杯頑張りたいと存じますが、皆様の絶大なご協力をいただきますよう、まずもってお願い致します。

国際ロータリー第2790地区の本年度目標を、「より強力な 魅力あるクラブに」と致しました。

入会后3年未満の会員が、ロータリーのことを良く知らないで退会してしまう、ということを知ります。この原因は色々あると思いますが、クラブの例会等でロータリーについて語り合う機会が少なくなっているのも大きな原因ではないでしょうか。ロータリー歴の長い会員から「昔は、例会には定款、細則を持ち寄ったものだ。」という話を聞いたことがあります。クラブが創立間もない頃は、ロータリーの様々な情報を知ろうと、全員で研究していたことが伺われます。「入りて学び 出でて奉仕せよ」という標語がありますが、良く吟味したいものです。

クラブの会長、ロータリー情報委員長やクラブ研修リーダーは、例会でロータリーについて語っていただきたいと思います。ロータリー・クラブの例会ですから、ロータリーについて話し合いをし、その結果楽しい例会であった、と感じられるようにしたいものです。ロータリー・クラブは仲良しクラブであってはならないと思います。毎例会でお互いにロータリーについて話し合いをすれば、全会員がロータリー情報をより多く身につけ、少なくともロータリーのことを良く知らないで退会してしまう、と言う事態にはならないと思います。

楽しい例会というのは、娯楽的に楽しいのではなくて、ロータリーについて話し合った結果

楽しい、と感じられるようにしたいものです。

全会員がロータリーに精通しているならば、そのクラブは強力なクラブといえるのではないのでしょうか。地区内84クラブが、より強力な、魅力あるクラブを目指していただきたいと思います。

より強力な 魅力あるクラブになるために、地区として10項目からなる重点目標を掲げました。

これら10項目の内、特に①各クラブ10%の会員増強。②各クラブの長期目標を策定。③会員研修の充実。に取り組んでいただきたいと思います。この内の会員研修の充実については、上記に述べましたので、他の2点について、以下に記します。

10%の会員増強については、毎年1名の会員増強という目標があったではないか。といわれそうですが、1名の会員増強はRI会長賞を申請する際の一つの要件でした。

会員増強は、会員増強委員長やクラブ会長等がやってくれるだろうという、いわばあなた任せにしているのではないのでしょうか。そうではなくて、全会員が必死になってこれに当たれば、必ずや達成できると思います。毎年10%の増強が実現したら、計算上4年後には4,000名になります。現在日本国内の34地区で4,000名以上の地区は3地区です。千葉県の人口を考えると、4,000名の会員は、決して難しいことはないと思います。皆さんは素敵なロータリアンです。こうした皆様が推薦する人達は、きつと素晴らしい人だと思っています。自信をもって会員増強にあたっていただきたいと思います。

各クラブの長期計画の作成については、10項目の重点目標には掲げてありませんが、各クラブの直前年度、現年度、次年度の会長、幹事が中心となって、クラブの将来の目標を策定していただきたいと思います。クラブという団体が何を狙っているのかを策定して、その目標に向かって全会員が活動するのがロータリー・クラブではないのでしょうか。

本年度が、あの会長年度が変化の年度だったといえるような年度になりますようお祈りします。



初心にかえって所信を貫く一年を

2011-12 地区研修リーダー

PG 崎山 征雄

本年度カルヤン・バネルジーR I会長は「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマに掲げ「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞り、まず自分自身の内側から始め、自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、出て奉仕し、世界で博愛を広げてください」とロータリアンを鼓舞しています。

さらに「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければいけない」と言うガンジーの言葉を引用して組織の繁栄、活性化を強調しています。まず自らを見つめ、自らが変われば世界が変わるとの信念のもとに行動することにより、より強力な魅力あるクラブが出来ると思えます。そして、R I会長は年度の強調事項を「家族」「継続」「変化」の3つとしたのです。万事は家族から始まり、私たちが成し遂げたいと望む奉仕すべての出発点がここにあり、あらゆる家族の中心には母と子がいて、水・教育・保健などのプログラムは、この家族という場で始まります。

2番目の強調事項の「継続」、ロータリーは106年の年月の中で素晴らしい継続性を保ってきました。指導者が毎年交代するにもかかわらず、ロータリーが時代に即した存在であり続けられるのは、この継続性が大きく貢献しています。ロータリーは非常にダイナミックな組織である半面、得意とする活動やベストプラクティス、時代を超えた原則を保持する事により奉仕において大きな成果を挙げてきました。一方、「変化」の必要性は、ダイナミックな組織だからこそ、変化が必要であり、時代のニーズをとらえるには変化を避ける事はできません。継続と変化は、表裏一体な関係にあります。ロータリーの強み、成果、ベストプラクティスを継続していくと同時に、ロータリーのより良い未来のために現代に必要だと思われる変化を取り入れて行く勇氣を持つてはいませんか。私たちが得意とする活動の継続、平和な世界をめざしてまず、自分自身を変える事による変化に力を注ぐ事、そのことが、国際ロータリーの唯一の正会員である、より強力な魅力あるクラブを創る事になります。

本年度、山田ガバナーは国際協議会から帰朝後、最初の地区チーム研修セミナーでの冒頭「より強力な 魅力あるクラブに」をテーマとして掲

げました。そしてその為に10の重点目標を提案しました。その一つ、一つが、大事な事となります。その全てに山田ガバナーは全力で取り組みと宣言しています。

2790地区の会員一人一人、クラブ一つ一つがその目標に向かって前進する事が今は大事であり、なかでも大事な事はロータリーのプリンシプルをしっかりと自分自身の内外に打ち立て、まずクラブ奉仕を、職業奉仕を大事にしてロータリアンは友人の集まりとする信頼と友情の関係を第一義にするという覚悟を改めて定めることにより、より強力な魅力がクラブに沸き起こり、五大奉仕が完遂できると信じます。

この数年、地区委員会編成がCLPを中心に、毎年変わってきています。ここで皆様は混乱せず冷静に見て頂ければ、CLPは目的ではなく、ロータリー活性化の道具のひとつと理解できるはずで、CLPについて2008年1月のサンディエゴ国際協議会でレイ・ヒギンボサムのセミナー講演などで強調されたのは、CLPとはそのクラブ活動の継続性（3年継続の長期計画の策定）の確保と管理運営部門の効率化で、クラブ活動の全員参加意識の向上により、クラブ内の奉仕エネルギーを高める事が出来るなら、その委員会構成はクラブの総人数によってその形態を標準委員会方式を参考に様々な形式に設置できる。「早い話がクラブの活性化がよりよく維持され拡大するのなら、委員会は今迄の委員会構成でも良い」と説明されました。

2002年7月のDL Pの義務付け以来、ガバナー補佐制度を筆頭に地区運営の効率化を推し進めてきました。クラブ支援体制の強化、指導者の継続性づくりなどです。そして2004年にはCLPが「推奨」され、以来CLPをめぐる日本の34地区で各種、議論、検討がなされていますが、その道具、手段としてのクラブ活性化に向けた内容、理念、行動方針が理解され、必ずしも5常任委員会形式優先でなくともクラブの実情に合った委員会編成でよいとの考え方が定着してきました。今年度は五大奉仕となり、地区とクラブの委員会の整合性の問題もあろうかと思いますが、委員会の数、活動目的、その内容を理解して頂いたクラブなりのご判断で良いかと考えます。

山田ガバナーのこの一年間のご活躍を祈念いたします。

「大きな花を咲かせましょう」



ガバナー補佐 就任にあたって

第1分区ガバナー補佐
市川IRC 佐藤 信 廣

この度、第1分区ガバナー補佐を拜命致しました、市川ロータリークラブの佐藤と申します。

私は、1989年に入会し、会員歴22年となりますが、このような大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いであります。その名に恥じぬよう、全身全霊で臨む所存でございますので、皆様のご協力をお願い致します。山田修平ガバナーの掲げた地区目標を達成すべく、分区内クラブの会長幹事会を定期的に開催し、適切な提案・指導・伝達を行うよう努めて参ります。活発な意見交換の中から、新しいロータリーの在り方を模索して参りたいと考えております。

このロータリー活動に携わってきた22年を振り返ってみますと、ご縁のありがたさというものをしみじみと感じます。入会と同時に、多業種で活躍されている信頼できる方々とお近付きになることが出来ました。様々な活動を通じてたくさんの学びを頂き、それまでは知る機会を与えて貰えなかったことにまで目を向けることが出来るようになり、自分自身の視野を大きく広げることが出来たと思います。また、米山奨学生のカウンセラーを経験したことで、人と人とが繋がっていくことの素晴らしさも教えていただきました。お世話したのは千葉大在学中の2年間でしたが、卒業から20年がたち、台湾に帰国してしまった今でも親交があり、日本のお父さんと慕ってくれています。こうしたことも、ロータリーだからこそその貴重な体験だと思えます。奉仕の理想の哲学に則ったロータリー・クラブを一人でも多くの方々に知っていただき、体験することで価値ある素敵な人生を歩んでいただけるように、会員増強にも積極的に取り組むことが社会奉仕に繋がると信じております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第2分区ガバナー補佐
船橋みなとRC 鈴木 正

まずは、自己紹介をさせていただきます。私の所属しているクラブは、「船橋みなとロータリークラブ」であります。我がクラブは、1993年の5月に設立され、今年で18年になります。スポンサークラブは「船橋西ロータリークラブ」です。そして私が入会して9年がたち、4年前にクラブ会長を務めさせていただきました。会員数は現在27名、そのうち女性会員が7名と2790地区では一番多いのが特徴です。

船橋市で運送業を経営する両親のもとで、3人兄弟の長男として生まれました。中学から大学までは東京の学校に通っていました。学生時代は野球が好きで、ず〜っと野球部に所属し「長嶋茂雄」みたいになるのが夢でした。しかし、家業である運送業に付き、ドライバーとして朝から晩までトラックのハンドルを握る毎日でした。そんな時、青年会議所に誘われ入会しました。学生時代に船橋から離れたこともあり、地元の仲間が欲しかったのです。それからはドライバーをしながらですが、人生が大きく変わってきたと思います。青年会議所を卒業すると、先輩たちに法人会や商工会議所などにも半強制的に引張られ、仕事以外にも忙しい日々となりました。お酒もだいぶ飲みました。そしてついに、ロータリー・クラブにも誘われ入会したのが9年前ということです。入会した以上はどのクラブよりも楽しい、魅力あるクラブにしたいと思い積極的に活動してきましたが、まだまだ勉強不足です。ガバナー補佐に就任することになったのですが、私ごときに大役が果たせるか不安です。第2分区の皆様、ご協力、ご支援の程、よろしく願い申し上げます。また、山田ガバナー、他分区のガバナー補佐の皆様、ご指導の程、よろしく願い申し上げます。



奉仕の理想を求めて

第3分区Aガバナー補佐
千葉東RC 高山 正孝

米国の心理学者マズロー博士が人間の欲求には5段階あると言っています。最初は「生理的欲求」で、食っていければいいという段階、2段目は「経済的欲求」で生活の豊かさへの欲求、3段目は、「社会的欲求」人並みでありたい、認められたいという段階、4段目は「文化的欲求」で、人並み以上の趣味と生活の段階、5段目は「自己実現」で自分のやりたいことをする段階だそうです。その上の頂上はというと「奉仕」で喜びを感じるという達観した段階だとももの本で読んだことがあります。

経営者の集団であるロータリーアンは勿論5段目からその上を目指す人たちであると思います。

当分区は、千葉クラブを始めとする5段目や頂上におられる人の多いクラブが沢山あります。たまたま私の所属する千葉東ロータリー・クラブにガバナー補佐の順番がまわってきて、3段目をうろちょろしている私に白羽の矢が当たってしまいました。このチャンスを生かし、ガバナーや諸先輩の助力を頂戴して、素晴らしい人との出会いを楽しみにそして大切に、自分を奉仕のできる頂上に向かって一所懸命に歩み続けたいと思います。



ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Bガバナー補佐
市原RC 三木 敏靖

本年度ガバナー補佐という大変な役を務めさせていただきます。よろしく願い申し上げます。

1973年に入会以来「楽しくなければロータリーではない」職業奉仕を通じて、ロータリーを世間に認めていただければいい」と思いつつ過ごして参りました。会員の皆様のご支援、ご鞭撻、ご協力を心よりお願い申し上げます。

ちなみに、本年は3月11日、東日本大震災により敗戦以来の国難という事態が発生しております。これへの対応を視野に入れつつ活動することが、ロータリーに要請されることになるでしょう。

今年度のRI会長のテーマは「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」とし、3つの強調事項を挙げています。第一に家族、第二に継続、第三に変化。“変化”については、マハトマ・ガンジーの言葉を引いて次のように述べました。

「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない。」この3つの強調事項は、浅学非才な私にとっては理解が及ばない所ではありますが、日々の事項を粛々とこなしていけば自然に解決されて行くと考えております。

今、日本のロータリーの危機が「会員数の減少」に端的に表われています。「魅力のなさ」に対応してまずはロータリー例会他、諸行事に参加することが、知的満足を伴った「楽しさ」となるべく活動したいと思います。

最後に、自クラブの皆様はもとより、第3分区Bの皆様、そして各分区のガバナー補佐の連繋にお力添えをいただきながら、楽しんで務めを果たしたいと思っております。



ガバナー補佐 就任にあたって

第4分区ガバナー補佐
袖ヶ浦RC 成 松 薫

伝統のある第4分区のガバナー補佐に就任し身の引き締まる思いであります。

また今年度は山田ガバナーの「お膝下分区」として分区内各クラブには多忙な年度ではありますが、地区幹事長の指示の基に協力体制を確立していきたいと思っております。

ガバナー補佐としては山田ガバナーの方針を的確に分区内各クラブにお伝えし、各クラブからの提言、お願い等を確実に地区にお届けすることが私の任務であろうと思っております。

第4分区は旧君津郡市としての「文化」を背景に、木更津クラブを筆頭に8クラブがそれぞれの地域で特色のあるロータリー運動を展開しております。

また、先日織田パストガバナーが作成された貴重な資料である地区内クラブ総括表によると、当分区は出席率においては地区内ベスト10に3クラブが入るという高いロータリー意識を保持している分区でもあります。

このような第4分区を北見前年度ガバナー補佐の理念を引き継ぎ、皆様のご協力を得て益々素晴らしい分区にしていきたい所存であります。

どうぞよろしくお願いを申し上げます。

「神よ、変えることのできないものを受け入れる冷静さを、
変えることのできるものを変える勇気を、
そして両者の違いを見分ける知恵を、
私たちにお与えください。」

ラインホールド・ニーバー



ガバナー補佐 就任にあたって

第5分区ガバナー補佐
勝浦RC 釜 田 英 之

この度、2011-12年度第5分区ガバナー補佐を務めさせて頂く事になりました、勝浦ロータリークラブの釜田でございます。

第5分区は館山ロータリー・クラブを中心に、親子・兄弟クラブとして強い絆と友情で結ばれ、団結力の強い分区でございます、それでもなお一抹の重圧を感じますが、昨年10月よりガバナー補佐予定者会議、各種研修セミナーにて、山田ガバナー、パストガバナーの皆様よりガバナー補佐の役割、そしてなにをしてほしいのか等々具体的にお話を伺い少し整理出来たとおもいます、分区内会員のご協力を仰ぎながら、1年間頑張りますので宜しくお願ひ申し上げます。

今年度R I会長は「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマを提唱し、自らが抱く望みを理解すれば、人々の望みも理解できるはずと問い、3つの強調事項を提示し、山田ガバナーは今年度それを実践するために「より強力な 魅力あるクラブ」を目指し10項目の重点目標を掲げております。各研修セミナー、地区協議会等で周知されていると思います。クラブ活動計画、長期計画に活用していただき、特徴のあるクラブ運営、奉仕活動に役立ていただき、各クラブ実情に合った、R I会長賞プログラムに挑戦して下さいますようお願いいたします。

私もガバナー補佐として山田ガバナーのご指導のもと、地区と分区の潤滑油となり各クラブに合った、素晴らしい奉仕活動、クラブ運営ができますように、ご協力させていただきます。

そして楽しく、活力ある第5分区であり続けられますように、是非皆様方の友情とご支援を宜しくお願ひ申し上げます。



ご挨拶

第6分区ガバナー補佐
茂原RC 寺田 憲 司

この度、2011-12年度 国際ロータリー 第2790地区 第6分区 ガバナー補佐をお受けさせて頂くことになりました寺田と申します。これからの1年間、皆様方のご支援ご協力を賜りガバナー補佐職を精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、第二次世界大戦後最も深刻な状況となっております。しかし、人々のパニックはなく、救援物資は数百万人の被災者のもとに正しく運ばれております。“日本人のスピリット（気概）は失われていない”と異口同音に諸外国のマスコミ報道が伝えておりました。それは、長年培われた日本の家族制度からなる日本の風土というか日本人気質であります。

さて、本年度R I会長カルヤン・パネルジー氏は「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」と発表されました。このR Iテーマを実践するために3つの強調事項をあげられました。第1の強調事項は「家族」第2は「継続」第3は「変化」です。山田ガバナーは、「各クラブ運営に際しましては、R Iテーマと3つの強調事項を取り入れて頂きたいと思っております。」と、申しております。私の役割は、山田ガバナーが提唱しております地区活動方針「より強力な魅力あるクラブに」を各クラブのロータリアンの皆様と共に邁進していきたいと思っております。具体的には、地区の10項目の重点目標（1.五大奉仕部門への理解と実践-クラブ委員会数の見直し 2.各クラブ10%の会員増強 3.会員研修の充実 4.クラブ例会の充実 5.職業奉仕の重要性の再確認 6.各クラブで社会奉仕部門での新規事業の立ち上げの検討と実践 7.国際奉仕活動への関心と実践 8.新世代の健全な育成 9.ロータリー財団と米山記念奨学会への理解と協力 10.R I国際大会参加の推進）をガバナーと共に実践すべく協力、努力して参りたいと存じます。

どうかよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第7分区ガバナー補佐
銚子東RC 平野 恭 男

いよいよ新年度が始まり、会長・幹事さんは夢と希望と少しばかりの不安が入り混じった複雑な心境かと拝察されます。

クラブの活性化はクラブのリーダーの力が大きいので思いっきりご活躍して下さい。

ロータリーにおいては役職の上下はありませんが、会長だけは、色々な特権と申しますか、特別な仕事があります。全ての委員会に所属するとか、会議の議長になるとか、クラブ定款・細則に書かれている事です。私はもう一つ大事な役目があると思っております。それは「会長の時間」です。

毎週の例会の会長挨拶を含む時間です。

是非この時間は、ロータリーに関するお話をして下さい。ロータリー情報を含め、会員の皆さんがロータリー運動・理念を理解し、鼓舞するようなお話をして下さいませお願い申し上げます。

幹事の皆さんも文書が会長幹事連名で発送され、また来る文書も連名が多い事でおわりの通り、ただ単なる会長の補佐ではありません。重要な役職であります。ご活躍をご期待します。

さて 私も補佐として与えられました仕事を努力してまいります。特にガバナーとクラブのパイ役が重要な任務となりますので頑張りたいと思っております。

私は、ロータリーの基本はクラブと思っておりますので、クラブの自主性、独自性を尊重しながら地区との橋渡しを考えております。

合わせて本年度のテーマにあります様に見つめ直す機会と考えております。

ロータリアンとして、ロータリーの持つ品性、知性、感性、そして徳性を磨く年度にしたいと思っております。

皆さまのご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第8分区ガバナー補佐
佐原香取RC 坂本文夫

この度、2011-12年度、第2790地区第8分区のガバナー補佐をお引き受けすることになりました。今日までガバナー補佐会議等の研修を受け、今更ながらその責務の重さを痛感しております。

カルヤン・バネルジーRI会長は、「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を今年度のテーマに掲げ、その実践のために、「家族」、「継続」、「変化」の3事項を強調されました。

本テーマは、折しもその発表後程なくして発生した東日本大震災の復旧復興支援を考えると、本邦にとりましては大変に示唆に富むものとなりました。

この国難に際して、ロータリーは今、何を成すべきか、その方法はいろいろ考えられますが、復興には3つの強調事項が極めて重要です。ロータリーは単なるボランティア団体や寄付団体ではなく、ロータリーの綱領に示された職業奉仕の実践を通じ、自己修練する団体です。我々ロータリアンは、四つのテストに照らして、冷静かつ迅速な支援活動を継続して行うべきと考えます。

山田ガバナーは地区の方針を「より強力な魅力あるクラブに」とし10項目からなる重点目標を掲げています。いずれも今日のロータリーの喫緊の課題であり、各クラブが目標達成に向けて努力することが肝要と考えます。既に分区内各クラブの活動計画やガバナー公式訪問等に関する、山田ガバナーの意向は会長幹事会にて伝達致しました。

私もガバナー補佐として山田ガバナーのご指導のもと、第8分区内のクラブの皆さんが素晴らしい奉仕活動とクラブ運営ができますように最善を尽くしてまいりますので、皆様方のご支援とご協力を切にお願い致します。



ガバナー補佐に 就任せよ

第9分区ガバナー補佐
八街RC 塩野谷 征三郎

第9分区の補佐を命じられたが、余りに予期せぬ成り行きに、常々「ロータリーにはnoは無い」と教えられてきた私にも冗談としか思えず、選考委員の方々に確認した程であった。自分がその様に立派な器ではないと思いつつも、入会以来何かとご指導ご配慮頂き、心底より感謝尊敬申し上げる先輩諸兄が大切に守り育ててきた「八街ロータリー・クラブ」のガバナー補佐として“お勤め”を大過なく果たすことこそが自分に与えられた「責務」なのだと思うと「ノー」とは決して云えない。自分が日頃つい忘れがちなきリスト教的「奉仕の精神」を思い起こさせ、其れを行う機会を与えてくれるロータリー・クラブ。今、東洋人として一步でも近づきたい「悟り」への道を暗中模索しているつもりで自分であれば、RI会長カルヤン・バネルジー氏が掲げた「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマこそ、正に自らの求める処にも通ずる道ではないかと考えられるのだ。9分区内6クラブの皆さんと「博愛を広げるため」に活動し、第二次世界大戦末期の惨禍にも似て、破壊と放射能に見舞われた東北地方の人々、取り分け親を失い、途方に暮れる子供達に一過性でない息の長い「博愛の手」を差し伸べてゆきたいと思う。私自身は大変微力であるが、補佐幹事として八街クラブの山本 昇さんと亦平 力(つとむ)さんにお力添えをお願いしてあるので、お二人のサポートが得られれば大丈夫に違いない。さて、そうと成れば、分区内の各クラブを訪問しなくてはならない。親しい仲にも礼儀が必要だ。第1回目の会長幹事会のご案内文書を持参の上、6クラブをやっとメイクアップし終え、全クラブ出席のご返事を頂いたところである。

山田ガバナーの意図する処を会長幹事の皆さんに充分にご理解頂き、その遂行の後押しをする心算である。ガバナーの公式訪問や私のクラブ訪問の祈りに各クラブの皆さんから暖かいご支援やご指導ご鞭撻が得られることを願うものである。



奉仕の理想を求めて

第10分区ガバナー補佐
沼南RC 森 和夫

2011-12年度第10分区ガバナー補佐をお受けすることになり、光栄に思うと同時に、責任の重さを日増しに強く感じております。

私のロータリー歴は、県内50番目のロータリー・クラブとして、昭和51年2月10日創立、同23日認証の、沼南ロータリークラブのチャーターメンバーとして入会し、現在に至ります。

当時は、会員資格として一業種一人が厳格に守られ、それぞれの会員に各職業の代表としての誇りがありました。

出席率は100%達成を求められましたが、メーカーアップがおっくうではなく、現在と違って例会日の前後1週間内という規定がありましたが、他クラブを訪問する事が楽しかったです。故岡野PGが元気な頃で、ずいぶんと発破をかけられたことを思い出します。

日本が高度成長期にあり、国民の懐が豊かで、何をしても楽しかったです（ゴルフ、飲み会、カラオケ等）。従って会員増強もやり易かったと思います。企業も、支店、支社長も入会できたので、視野が広がったと思います。

ところが、バブルがはじけて、経済的に不況な時代へと移行し、退会者が増加し、入会者は減ってしまいました。質か量かという議論もありました。

21世紀を迎えようとする頃、RIの方針は変わり、会員資格を緩和したので「バッチ」の重みが無くなりました。

「変えていいもの、変えなくてはならないもの」とは何なのか、改めて考えさせられます。

現在のRIの方針と意図するところは異なると考えておりますが、会員増強しないとロータリーの明日は無いと思っております。

一年間よろしくお願い致します。



ガバナー補佐 就任にあたって

第11分区ガバナー補佐
八千代RC 渡邊 敏美

2011年-12年度山田ガバナーの元、第11分区のガバナー補佐を担当することになりました。

これまでの歴史を振り返ると、前椎名ガバナー補佐をはじめとして、そうそうたる先輩方が務めてこられた大事な役を、私ごときでいいのだろうか、頭を悩ましながら、それでも『ロータリーにNOはない』と説得されお引き受けしました。

ロータリークラブは、会員同士親睦を図り、お金や物を寄付する慈善団体ではありません。ロータリーの綱領にも示されているとおり、事業および専門職務の道徳的水準を高め、職業を通じて社会に奉仕する団体です。

山田ガバナーは、今年度地区の方針を、『より強力な 魅力あるクラブに』と提唱されました。入会后3年未満の会員が、ロータリーのことをよく知らないうちに退会してしまうというのは良く聞く話です。原因はいろいろあると思いますが、クラブ例会でロータリーについて語り合う機会が、少なくなっているからなのではないかと言っています。『ロータリーって何ですか』と聞かれて、毎週例会に出てればそのうち分かるよ。というのではなく、ロータリー・クラブの本質的なことについて、クラブ内でもっと語り合うことが、『より強力な 魅力あるクラブに』への近道であると話をされました。それには私たち自身がロータリーについて真剣に向き合い、共に学ぶという事が大切なのではないのでしょうか。

今年度、山田ガバナーの意向を補佐として、分区の皆様にごくまでお伝えできるか難しいとは思いますが、与えられた期間、役割を果たすことができるよう努力します。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



ガバナー補佐 就任にあたって

第12分区ガバナー補佐
松戸RC 安井 克一

RI会長のカルヤン・パネルジー氏はまず自分自身を見つめ直すことから始めませんかと問いかけてました。すなわち深く自己を省みることによって自らが抱く望みを理解してこそ人々の望みを理解できるのだとターゲットを決められました。そしてこの事は博愛を広げるために、すなわち世界中すべての人々にわけへだてなく平等に接し世界の平和を広げることにより平和を分かち合うことができると言っています。山田ガバナーはこれを受けて「より強力な 魅力あるクラブ」とその行動指針として10項目の重点目標を掲げました。すでに実践されているクラブもあると思いますが、更に原点に思いを馳せながら再び各項目についてクラブ内で議論を重ねて欲しいと思います。私の役割は山田ガバナーの地区目標が達成される為に分区内の5クラブがより効果的に運営されるよう支援させていただく事に他なりません。まず各クラブ訪問の折には山田ガバナーが取り組まれる重点項目を詳細に説明させていただきたいと考えております。但し一方通行ではなく各クラブからの会員からも広く意見を伺い地区への要望や指導の要請があればガバナーからの御助言や地区委員会の皆様の御指導を賜りたいと存じます。各クラブの独自性を尊重しながら長所短所を評価し、足らざるところは山田ガバナーの御指導の基、クラブの活性化に少しでも手助けになれば幸いです。5クラブの指導者とは連携を深めそれぞれのクラブの発展的な現状の取組みを的確にガバナーへ報告し公式訪問の議論の場が広がるように考えていきたいと思ひます。ロータリー情報・インターシティミーティングの機会には一人でも多くの会員に参加していただき親睦の推進に努力をしてまいりたいと思ひます。

終わりに本年は原理原則を改めて考える意味でも「ロータリーの綱領」を心に刻んでみましょう。私自身も日頃何か問題が起きた時には四つのテストに照らし合せ自問自答する習慣を身に付けようとしています。この機会に綱領を更に理解することに真摯に努力をしたいと思ひます。5クラブの会員の皆様のご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第13分区ガバナー補佐
流山RC 熊坂 牧子

東日本大震災が各地に未曾有の被害をもたらし、未だ福島原発事故終息の明かりの見えないこの年に、ガバナー補佐を拜命し、身の引き締まる新年度を迎えました。昨年10月初旬の第1回次年度ガバナー補佐会議以来、数回の会議において、山田修平ガバナーの明確な方向性をうかがい、またパストガバナー、地区委員長の皆様のお話をうかがって、私なりのガバナー補佐の在り方をようやく感じる事が出来ました。充実した1年間となる様に頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年度RI会長は「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマに“家族”“継続”“変化”を強調事項に掲げられました。母と子、あるいはロータリーファミリーなどの“家族”からは人類や自然に対する愛を育むでしょう、奉仕実践の“継続”からはこれまでの歴史とこれからの進化を得ることでしょう、時代に即した“変化”からは必要とされる柔軟性を育てるでしょう。また、山田修平ガバナーは「より強力な 魅力あるクラブに」を地区方針に、さらに重点目標に10項目を掲げられています。

分区内クラブでは高い見識での奉仕理念を、それぞれの独自性を持って実践・継続していますので、その特性や意見をガバナーおよび地区にお伝えし、さらにガバナーの掲げられた地区方針を分区内に伝達、情報を共にすることが私の使命と考えております。

今年度は、情報研究会とインターシティ・ミーティング（IM）をガバナー補佐の主催で開催いたします。

この2つのセミナーの特徴を生かしての開催を計画しておりますのでご協力をお願い申し上げます。

1,000年に1度の大災害とも言われる大震災と大津波災害の中で、支援、救済、ボランティアの基本とも思われるロータリーの奉仕理念を学び実践して、少しでも地区、分区のお役に立てるように努力いたします。

文庫通信(285号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

～ 最近のロータリー文献より ～

- ◎「ドイツの『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』」 織田吉郎 2011 1 p (D.2790月信)
- ◎「日本人の奉仕の心」 延原 正 2011 2 p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「『ロータリーの心と原点』-基本に返ろう」 廣畑富雄 2011 3 p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「識字率向上が意味するもの」 小林完治 2011 1 p (D.2690月信)
- ◎「CLP導入の現状とクラブ活性化計画」 川岸洋一 2011 2 p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーの曙」 田中 毅 2011 4 p (米山梅吉記念館館報)
- ◎「新世代育成」 片山主水 2010 4 p (奉仕の理想-ロータリーの心と形)
- ◎「一以って貫く」 菅 正明 2010 8 p (論語でロータリー)

[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

ガバナー月信の発行について

2011-12年度ガバナー事務所 地区幹事長 渡部 和夫
月信担当幹事 梶山 克巳

ガバナー月信は毎月1日発行日とし、ロータリー年度終了後会計報告書を発行します。従いまして、2011-12年度は13回発行いたします。

お願い

1. 原稿はできるだけMSワードで作成し、Eメールにてガバナー事務所(11-12gov@rid2790.jp)宛にご送付頂けますようお願い致します。(原稿用紙の場合は、郵送して下さい。)
2. 「例会出席率報告書」は、毎月最終例会終了後15日以内に送付して下さい。
3. 「月信報告書」は毎月最終例会後速やかに送付して下さい。
 - ① 新ロータリアン(写真添付)
 - ② 叙勲・褒章・表彰(写真添付)
 - ③ R財団・米山記念奨学会寄付(写真添付)
 - ④ 物故会員(写真添付)

*写真は、できるだけ画像データをEメールでご送信して下さい。

プリント写真の場合は、サイズは問いませんが、なるべく5cm×6cm程度にして、裏面にクラブ名・氏名をご記入の上郵送して下さい。

第11回日韓親善会議中止のお知らせ

第2790地区連絡幹事

増田 豁(P.G)

2011年9月2日(金)、3日(土)に東京で開催の予定でありました本会議は、東日本大震災を鑑み中止となりましたのでご報告いたします。

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー) 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



中山 勲
(柏東RC)



狩野 文夫
(船橋RC)
10回目



深山 一郎
(成田RC)
2回目

大口寄付

恒久基金 (ベネファクター)



山田 修平
(木更津東RC)



木村 卓生
(船橋RC)



大八木 諭
(浦安RC)



渡邊 峰子
(柏東RC)

ご本人の
ご希望で
未掲載

石戸 久子
(柏東RC)

米山記念奨学会寄付

米山功労者



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
9、10回目
メジャードナー



片山 正樹
(習志野中央RC)
8回目



鈴木 邦彦
(船橋RC)
5回目



菊久川 登
(成田RC)
5回目



渡邊 隆
(柏東RC)
4回目



石戸 卓志
(柏東RC)
4回目



石橋 菊太郎
(成田RC)
2回目



木村 卓生
(船橋RC)
1回目



矢島 紀昭
(成田RC)
1回目

新ロータリアン(敬称略)



二階堂 晋一
(浦安RC)
ホテル
2月4日入会



小沼 和浩
(千葉東RC)
通信業
5月9日入会



小篠 隆
(鴨川RC)
建設土木業
5月10日入会



中山 猛
(成田コスモポリタンRC)
生命保険
5月11日入会



阿部 慎一
(成田RC)
都市ホテル
5月13日入会



伊藤 公一
(柏RC)
環境リサイクル
5月25日入会



友野 斉
(館山RC)
自動車修理
6月1日入会



丸山 浩
(浦安RC)
生命保険
6月3日入会



高塚 孝一
(柏RC)
不動産賃貸管理
6月15日入会

行事予定 (7月)

1日(木)	第1回ガバナー会	10:00~11:30	グランドプリンス新高輪
"	ガバナー、元、次期ガバナー懇談会	11:45~15:00	"
"	ガバナー、「友」委員会合同会議	15:15~16:30	"
11日(月)	社会奉仕セミナー	13:00点鐘	京葉銀行文化プラザ
12日(火)	国際大会推進委員会		
16日(土)	R米山記念奨学会委員会	11:30~14:00	東天紅
23日(土)	クラブ奉仕セミナー	13:00点鐘	ポートプラザ千葉
24日(日)	11-12年度全国少年交換委員長会議		グランドプリンス新高輪

ロータリー・クラブ名称変更のお知らせ

第10分区「沼南ロータリー・クラブ」は、2011年7月1日よりロータリー・クラブ名称を「柏東ロータリー・クラブ」に変更致しましたのでお知らせ致します。

R.I. 第2790地区(千葉)2011年5月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	3	48	0	49	0	1
	市川東	100.00	4	42	1	41	0	-1
	市川南	69.00	3	17	1	17	1	0
	浦安	88.60	3	41	0	43	0	2
	市川シビック	80.55	3	38	0	38	0	0
	浦安ベイ	93.90	3	21	0	22	0	1
第2分 区	船橋	91.98	5	24	0	24	0	0
	船橋西	82.36	4	48	4	45	4	-3
	鎌ヶ谷	87.88	3	25	2	25	2	0
	船橋東	92.60	3	31	5	30	5	-1
	船橋南	85.07	3	25	2	24	2	-1
船橋みなと	80.75	4	26	7	27	7	1	
第3分 区A	千葉	92.51	4	65	0	66	0	1
	新千葉	89.83	3	47	0	48	0	1
	千葉西	86.84	4	50	5	50	4	0
	千葉中央	82.14	2	37	0	38	0	1
	千葉幕張	91.32	4	32	4	35	4	3
	千葉東	80.10	4	28	3	31	4	3
千葉若潮	83.69	3	30	0	30	0	0	
第3分 区B	千葉南	89.47	3	37	4	39	4	2
	市原	89.20	4	43	3	44	3	1
	千葉港	82.05	3	29	0	29	0	0
	市原中央	83.17	4	50	1	52	1	2
	千葉北	77.99	3	22	1	23	1	1
千葉緑	64.29	4	27	2	28	2	1	
第4分 区	木更津	88.15	3	41	3	45	4	4
	上総	72.21	2	19	0	18	0	-1
	富津	89.47	4	19	1	18	1	-1
	富津中央	89.47	3	22	0	21	0	-1
	木更津東	88.56	3	40	0	45	0	5
	君津	92.30	4	39	2	41	2	2
	袖ヶ浦	99.04	4	28	3	28	3	0
富津シティ	82.35	3	19	0	17	0	2	
第5分 区	館山	95.05	3	56	4	55	3	-1
	鴨川	86.11	4	27	2	29	4	2
	勝浦	86.25	4	42	8	40	6	-2
	千倉	86.67	3	16	1	15	2	-1
	鋸南	87.80	3	13	1	14	1	1
館山ベイ	65.15	3	24	0	22	0	-2	
第6分 区	茂原	82.28	3	58	2	59	2	1
	東金	83.00	4	25	0	25	0	0
	大原	82.03	3	15	1	14	1	-1

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	大多喜	83.33	4	13	1	12	1	-1
	成田空港南	84.83	3	40	0	44	0	4
	茂原東	79.16	3	28	3	28	3	0
	茂原中央	81.82	3	22	2	23	2	1
	大網	78.50	3	29	1	31	1	2
	東金ビュー	67.80	3	26	1	30	1	4
第7分 区	銚子	86.29	3	44	2	44	2	0
	旭	93.00	4	45	1	44	1	-1
	八日市場	84.00	4	44	2	46	2	2
銚子東	87.09	4	33	0	32	0	-1	
第8分 区	佐原	89.39	3	45	0	48	0	3
	多古	82.14	4	19	0	16	0	-3
	小見川	95.24	3	23	0	21	0	-2
佐原香取	85.40	5	26	0	26	0	0	
第9分 区	成田	86.55	4	58	0	61	0	3
	八街	85.37	3	39	1	39	1	0
	印西	83.95	3	28	0	27	0	-1
	白井	84.20	5	15	0	15	0	0
	富里	85.25	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	74.19	3	60	0	63	0	3
第10分 区	柏	85.60	3	44	9	45	8	1
	我孫子	89.80	4	26	0	27	0	1
	柏西	74.95	4	51	3	53	3	2
	沼南	96.49	3	23	1	21	1	-2
	柏南	93.00	4	29	3	29	4	0
第11分 区	習志野	71.85	3	38	1	38	1	0
	八千代	80.25	4	46	0	49	0	3
	佐倉	58.97	3	13	2	13	2	0
	八千代中央	80.05	4	27	0	28	0	1
	四街道	76.90	4	22	3	22	3	0
	習志野中央	89.68	3	39	6	42	6	3
	佐倉中央	65.28	3	14	1	14	2	0
第12分 区	松戸	89.86	3	48	0	52	0	4
	松戸東	88.33	4	53	0	53	0	0
	松戸北	88.60	4	40	0	37	0	-3
	松戸中央	76.04	3	41	2	38	3	-3
	松戸西	76.81	3	21	0	23	0	2
第13分 区	野田	80.95	3	49	4	49	4	0
	流山	87.70	3	19	4	19	4	0
	野田東	79.69	4	32	0	32	0	0
	流山中央	80.00	4	23	2	23	2	0
	野田セントラル	80.56	3	25	0	24	0	-1

クラブ数	84R.C.	2010年7月1日	地区会員数	2,773人	当月平均出席率	85.06%
		2011年5月末日	地区会員数	2,812人	増減	+39
		2010年7月1日	地区女性会員数	128人	女性会員増減	+2
		2011年5月末日	地区女性会員数	130人		

クラブ幹事へお願い

- 13ページにも記載してありますが、特に次の事項を守って下さい。
- ◎「例会出席率報告書」は、毎月最終例会終了後15日以内に送付して下さい。
 - ◎ロータリー財団寄付者と米山記念奨学会寄付者の写真も必ず送付して下さい。

7月のロータリーレート

82円



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011~12年度 国際ロータリー 第2790地区

地区大会のご案内

日時 2011.11/5(土)~6(日) 会場:かずさアカデミアホール



切られ与三郎

テーマ「ロータリーの魅力探訪」
— とことん学び、 とことん楽しむ —



高倉観音



證誠寺 狸塚



狸ばやし歌碑



潮干狩り

第1日目/11月5日

基調講演/かずさアカデミアホール
「国際ロータリーの現状と日本のロータリーの今後について」

元RI理事、R財団管理委員、第2780地区パストガバナー 小沢一彦氏

RI会長代理歓迎晩餐会/オークラアカデミアパークホテル
※登録料/会員:12,000円 配偶者:12,000円

第2日目/11月6日

記念講演/かずさアカデミアホール
「日本のこれから」
お茶の水女子大学名誉教授、数学者 藤原正彦氏
「友愛の広場」・「大懇親会」/かずさアカデミアホール

- 魅惑のサウンドをお楽しみ下さい。
加古勉と東邦音楽大学ジャズオーケストラ
(通称: ミッキー加古と東邦スウ)
- 伝統と情緒の街、木更津をご堪能下さい。
地元、八蔵の地酒でおもてなし。

※登録料/地区内会員:無料 配偶者:3,000円
地区外会員:8,000円 配偶者:3,000円



きみさらざタワー

2011.9/12(月) 記念ゴルフ大会



会場

木更津ゴルフクラブ
袖ヶ浦市下宮田216番地

申込み締切り:8月10日(先着200名)
キャディ付4B乗用カート/昼食(ワンドリンク付/
パーティー、賞品代込
※登録料 会員:22,000円 ご家族:20,000円

ホストクラブ ● 木更津東ロータリークラブ

コホストクラブ ● 木更津、上総、富津、富津中央、君津、袖ヶ浦、富津シティ 各ロータリークラブ



国際ロータリー第2790地区 2011-12年度地区大会事務局

ガバナー事務所:木更津市請西東1-5-4 TEL:0438-72-2790 FAX:0438-72-2794

E-mail:11-12gov@rid2790.jp

